

のぞえおおつじ
野添大辻遺跡（第3次）

所在地：度会郡大紀町野添（わたらいぐんたいいきちょうのぞえ）

遺跡への経路：

車…国道42号線から七保大橋を渡り、信号を左折、県道伊勢大宮線沿い

鉄道…JR紀勢線川添駅下車約2.0km（徒歩約25分）

位置情報URL：[三重県地図情報サービス](#) [野添大辻遺跡](#)

調査原因：伊勢大宮線（野添）地方道路整備（改築）事業

調査期間：平成26年5月9日（金）～平成26年8月11日（月）（予定）

調査面積：900m²



宮川対岸から遺跡を望む

発掘調査が始まりました

野添大辻遺跡は日本一の清流、宮川中流の南岸に位置する縄文時代から中世（鎌倉～室町時代）にかけての集落跡です。平成24年度の第1次調査では縄文時代早期（約10,000年前）の^{たてあなじゅうきよ}竪穴住居や^{ろあと}炉跡（調理施設）などが、平成25年度の第2次調査では室町時代の^{ほつ}掘立^{たてばしら}柱建物や井戸、道の跡などが見つかっています。今回はどのような発見があるのでしょうか。



今回の調査区（西から撮影）

<これまでの発掘調査から>



第1次調査では、縄文土器の中でも古いタイプである押型文土器が多数出土しました。遺跡全体で700点以上もおしがたもんの押型文土器の破片が見つかっています。

写真は煙道付炉穴跡から出土したものです。出土状況が非常に良好で、全国的にも大変貴重なものです。



竪穴住居跡（縄文時代）



出土した石器



第2次調査で発見された、室町時代の道の跡です。野添地区は伊勢神宮から熊野へと至る脇街道「熊野脇道」が通っていました。

これまでの2年間の調査では、大変貴重な発見があり、この地域の過去の姿が少しずつ明らかになってきています。

今年度も、埋もれてしまった郷土の姿を現代によみがえらせるべく、調査を進めていきます。

＜問い合わせ先＞

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503

三重県埋蔵文化財センター調査研究1課

担当者：小原・小倉

電話番号：0596-52-1732/FAX：0596-52-7035

E-mail：maibun@pref.mie.jp